大館市母子保健計画（平成14年度～1

基本目標

子どもを安心して生み健やか

3 病気や事故を未然に防ぐことができる環境づくり

- むし歯を持っている子の割合
  - 1歳6か月児　8・3％→減少へ
  - 2歳6か月児　24・4％→減少へ
  - 3歳6か月児　49・5％→減少へ
- 不慮の事故のために救急車で搬送された乳幼児　年22件→減少へ
- 1歳6か月未満の麻しんの予防接種の接種者割合　61・2％→増加へ

- 健全な生活習慣の確立の推進
- むし歯予防の推進
- 事故防止の推進
- 感染症予防の推進

- 乳幼児健康診査の充実を図ります。
- 生活習慣病予防の健康教育や相談の充実を図ります。
- むし歯予防のために、歯科健康診査の充実を図ります。
- 事故防止教育の強化を図ります。
- 予防接種の早期接種を勧めます。

4 慢性疾患や障害のある子どもが安心して暮らすことができる環境づくり

- 医療、療育、相談に対して満足している保護者の割合　調査予定→増加へ

※療育とは、心身に障害のある（または疑いのある）児童に対して、機能訓練や精神的育成を図ることをいいます。

- 療育対策の推進
- 地域支援対制の整備

- 早期療育対策の推進を図ります。
- 療育体制の整備を図ります。
- 地域でのボランティア活動の推進を図ります。

5 自己決定力を獲得することにより思春期の課題を乗り越えられるよう支援する環境づくり

- 中学2年生の貧血の割合　3・5％→減少へ
- 思春期特有の心の悩みや健康問題を相談できるひとのいる割合　調査予定→増加へ
- 10代の性感染症の割合　国で調査予定→減少へ

- 思春期における健康づくりの推進
- 思春期特有の心の悩みを解消するための体制整備
- 性教育の推進

- 喫煙や飲酒、薬物乱用、性感染症などについての健康教育の充実を図ります。
- 相談窓口の充実を図ります。
- 乳幼児とのふれあい体験の場を提供します。